

5年間の思い込め悲願の大台超え

スポーツ報知

第3回おゆみ野地区大縄跳び大会が昨年12月9日、金沢小学校体育館で行われた。1チーム10名以上で90秒間に何回跳るかを競い合い、低学年の部9チーム、高学年の部9チームが参加し白熱の練習の成果を披露した。高学年の部ではミラクルキーズ★Finaが決勝で211回を跳び、連覇を達成した。

おゆみ野地区大縄跳び大会



ミラクルキーズ★Fina

2013年(平成25年) 1月 報知新聞 報知新聞社 東京本社03-5479-1111 千108 B45港区港南4 6 49 http://hochi.yomiuri.co.jp 日刊©報知新聞社 地域限定版 第5号

- ミラクルキーズ★Fina
- 井浦 雅和 6
  - 三和 佳奈 6
  - 佐藤 優衣 6
  - 地下 芽奈 6
  - 引越 優花 6
  - 平山 優奈 6
  - 清水 山崎 6
  - 杉山 真奈 6
  - 花古 美真 5
  - 高尾 朋恵 4
  - 古川 愛 4

ノーミスで211回の大記録

昨年(190回)は5年前(190回)の3年生2人を交えた、初めての臨んだ大会では入賞することもなく大縄大会は楽しかった。しかし中では悔し泣きする高学年もいて翌年のリベンジを誓った。

そして2年目、新メンバーも加わり1年から3年生までの男女ミックスチームで初優勝。しかし3年目、メンバーは低学年と高学年のチームに分かれ、予選ではバック優勝するも、決勝では低学年チームが4位、高学年チームは3位と悔しさをばねに4年目は低学年の3年生2人を交えた、4年生1人、5年生9人のミラクルキーズ201を結成。

高学年チームでの総合優勝を目指し秋から気持ちを一つに練習を開始。全員集まった練習が難しい中、90秒ノーマスで190回跳び優勝。5年目は、6年生が学校行事も多く練習時間をあまり確保できないこと、2012年の参加が無理なため、予選で1週間休んで卒業し、1週間後の決勝大会、「今年が最後の1年」として211回を跳び、211回という大記録で2連覇を達成することができた。

平成24年度おゆみ野地区大縄跳び大会成績表

部門	育成	学校	学年	チーム名	1回目	2回目	合計	敗者復活	予選順位	決勝	順位
低学年の部	有吉	小谷	3	koyatu3-nen2-kumi-ズ	56	70	126	100	4	88	3
	有吉	泉谷	3	スプリングスター	34	29	63	35			
	有吉	泉谷	3	泉谷ジャンピング	52	44	96	55			
	有吉	扇田	2	イナズマトウエルパ(12)・GO!	72	30	102	33			
	有吉	扇田	3	G.O. Goジャンプ	44	35	79	43			
	有吉	扇田	3	ゴールデンジャンピング	97	78	175		3	82	4
	有吉	金沢	1~3	チョッパー	26	47	73	51			
	有吉	金沢	3	スプラッシュ☆ガールズ2012	102	131	233		2	103	2
	有吉	南	2~3	南U9 (アンダーナイン)	158	143	301		1	140	1
高学年の部	有吉	小谷	6	小谷ファイターズ	80	104	184	93			
	有吉	小谷	6	小谷Girls12	54	52	106	69			
	有吉	小谷	6	ライダー小谷ビヨンプιον	87	84	171	90			
	有吉	扇田	5	NEW MARIENS2012	101	102	203	102			
	有吉	扇田	5	プリティールガールズZ	132	142	274	184	4	164	3
	有吉	扇田	6	長縄ファイターズ6年	175	202	377		2	141	4
	有吉	南	4~5	南スマイリース	122	143	265	155			
	有吉	南	4~6	☆南アムレット12 (twelve)	186	183	369		3	184	2
有吉	金沢	4~6	ミラクルキーズ★Final	205	187	392		1	211	1	

※回数の太字はチーム最高回数



Final



# 第10回トントンエコマラソン大会に551人参加



## かずさの道を元気に走った

**駅伝など12部門**  
 第10回トントンエコマラソン大会が1月20日、ちはら台南中学校「かずさの道」をコースに、今年も晴天の中、開催された。今回で10回目となるこのマラソン大会は、ちはら台南中学校の冬の行事を地区に広げて毎年開催。今年も小学生から一般の大人まで参加し、マラソンや駅伝など12部門551名が元気に走りをつめた。

ファミリーの部				
順位	氏名	申告タイム	完走タイム	誤差
1位	小野智永子	10分00秒	9分50秒	10秒
2位	鈴木 敏則	7分00秒	6分46秒	14秒
3位	高瀬 武史	10分05秒	10分24秒	19秒
4位	中川 友恵	12分00秒	11分26秒	34秒
5位	大塚 翼	8分00秒	8分37秒	37秒
6位	久保山孝志	6分30秒	7分46秒	1分16秒

  

マラソンの部				
順位	氏名	申告タイム	完走タイム	誤差
1位	石井 博昭	15分00秒	17分29秒	2分29秒
2位	石井愛衣子	20分00秒	16分48秒	3分12秒
3位	石井 浩子	20分00秒	27分23秒	7分23秒



タイムレース部門			中学生駅伝男子の部		
順位	氏名	タイム	順位	チーム名	タイム
小学生低学年男子の部			小学生低学年女子の部		
1位	金子 航太	3分45秒	1位	鈴木なつみ	3分47秒
2位	河野 湧希	3分47秒	2位	塚本 明乃	4分01秒
3位	高橋 清吾	3分58秒	3位	町田 愛莉	4分03秒
4位	前田 昂祐	3分59秒	4位	大嶋 海結	4分04秒
5位	小島 吉人	3分59秒	5位	柿原妃菜里	4分09秒
6位	石井 湊斗	4分00秒	6位	中村 美咲	4分15秒
小学生高学年男子の部			小学生高学年女子の部		
1位	鈴木 駿友	5分33秒	1位	鈴木 菜摘	5分59秒
2位	古川 峻	5分40秒	2位	遠藤 来夏	6分01秒
3位	宮下 椋斗	5分44秒	3位	古川真奈美	6分05秒
4位	相野 悠月	5分45秒	4位	中島ひなた	6分08秒
5位	杉浦弥久人	5分46秒	5位	村尾 美紅	6分10秒
6位	白井 文也	5分47秒	6位	古川 愛	6分13秒

  

中学生駅伝男子の部			中学生駅伝女子の部		
順位	チーム名	タイム	順位	チーム名	タイム
1位	陸上E	33分54秒	1位	バスケットA	38分47秒
2位	バレーボールA	36分36秒	2位	バスケットB	40分51秒
3位	陸上B	37分14秒	3位	バスケットC	41分12秒
4位	野球B	37分40秒	4位	陸上A	42分32秒
5位	バレーボールB	38分19秒	5位	バスケットD	42分39秒
6位	サッカーD	38分33秒	6位	バレーA	43分48秒

  

一般駅伝の部			マラソンの部一般男子		
順位	チーム名	タイム	順位	氏名	タイム
1位	ヒデミツ	14分08秒	1位	天神 和明	13分49秒
2位	ザ・桜っ子	14分27秒	2位	竹内 将夫	14分12秒
3位	NASおゆみ野B	14分55秒	3位	鶴岡 秀之	16分31秒

  

マラソンの部一般女子			エンジョイウォーキングの部		
順位	氏名	タイム	順位	氏名	重量
1位	長嶋 実佐	18分10秒	1位	鈴木 美保	3.3kg
2位	鈴木 尚美	18分58秒	2位	古屋 和奏	3.2kg
3位	谷野真由美	21分41秒	3位	古屋 和響	2.5kg

ゴミもいっぱい拾ったよ

# ちはら台南中 陸上競技部 女子4×100メートルリレー 全国制覇

## 第39回全日本中学校陸上競技選手権大会

昨年の8月19・22日にかけて、第39回全日本中学校陸上競技選手権大会が千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催された。地元の開催されたこの大会で市原市のちはら台南中が女子4×100メートルリレーで見事優勝。関東大会では今年度初の敗北を喫し、負けることの悔しさを覚えた選手たちが悔しさをバネに成長した姿を見せた。

### 喜びのコメント

**走・富田みゆ** 「各都道府県の代表チームとの厳しい戦いのツシヤを感じていましたが、先末、全国優勝することができました。日本という夢が叶えられて、本当にうれしく思います。沢山の声援、ありがとうございました」といっていました。

**走・濱井美蘭** 「私は唯一の2年生で、先輩達に迷惑をかけるわけにはいかないと、とてもプレッシャーを感じていましたが、先輩方やサポーターの支えがあったら、夢であった全国制覇を達成することができました。応援ありがとうございました」といっていました。

**走・松本理恵** 「三日間、私達は全国大会という激戦を戦ってきました。厳しい大会でしたが、それ以上に三日間とも熱戦が繰り広げられていました。私の強豪達と戦ってきました。その

は女子4×100メートルリレーでは、日本を達成することができました。地元開催で優勝できたのは、沢山の関係の方々の応援のおかげで優勝できたことを感謝しています。これから感謝した気持ちで、最高のレースができてほしいです。応援、ありがとうございました」といっていました。

は女子4×100メートルリレーでは、日本を達成することができました。地元開催で優勝できたのは、沢山の関係の方々の応援のおかげで優勝できたことを感謝しています。これから感謝した気持ちで、最高のレースができてほしいです。応援、ありがとうございました」といっていました。

は女子4×100メートルリレーで全国優勝を果たしたちはら台南中のリレーメンバーと陸上競技部顧問の海老原先生

中でも日本一になることができ、本当にうれしかったです。応援ありがとうございました」



## スポーツチームの情報&写真募集!

「スポーツ報知」では、掲載希望の少年少女スポーツチームの写真や試合結果などの情報を募集しています。どんなスポーツジャンルでもOK。代表者の住所・氏名・電話番号・チーム名・スポーツジャンルを明記し、以下の3点を添えてご応募ください。

- ①大会・試合情報  
これから行われる大会の開催日時・場所、または試合結果などを明記
- ②チーム写真(スナップ可)  
※集合写真(試合中の写真など)
- ③チーム紹介原稿(400字以内)  
※①②の書式は問いません  
※掲載日などの詳細を代表者に連絡いたします

ご応募は3通り

〒266-0032 千葉県緑区おゆみ野中央4-22-4  
 [ハガキ] 千葉県緑区おゆみ野「地域限定版」係  
 [FAX] 043-291-2434  
 [E-mail] yc@yomi43.com

ぜひ情報&写真をお寄せください

読売新聞とスポーツ報知に折り込まれています



# 30回の記念大会にサプライズ登場

# 柏原と走った

選手

## 土気地区小・中学生マラソン大会



第30回土気地区小・中学生マラソン大会。土気・越智・土主権・大椎中学校区青少年育成委員会主催。が1月12日、千葉市緑区の「創造の杜」で行われた。30回目の記念大会となった今回は、小学4年生から中学3年生の男女830人が参加した。スペシャルゲ

3人が新記録  
柏原選手のサプライズ登場に、8300人の子供たちから大歓声があがった。開会式で、スペシャルゲストとして登場した柏原選手は「30回目の記念大会に参加できてうれしいです。元気いっぱいのお皆さんと楽しく走りたい」とあいさつ。土気南小6年の村山友香くん、豊田結衣さんの選手宣誓で、節目の30回大会の幕が開けた。

小6女子・森岡が3連覇  
人、中学生457人の合計830人が集結した。コート裏トラックをスタートし、アップダウンが激しいトリムコースで、小学生男女と中学生女子が1・5キロ、中学生男子が2・7キロを疾走。午前9時30分に全3レースがスタートした。3人の小学生が大会新記録の柏原選手の声援に「力をもらった。夢は箱根駅伝で柏原選手のように速く走りたい」とVサインをみせた。



ハイタッチで子どもたちと交流  
○：柏原選手は、小学生のレースをコース横でラストだ、胸振ってと声援を送った。また、後半はベンチコートを脱ぎ、中学生の3レースに出場。軽快な走りを見せた一方で、沿道の子供たちとハイタッチして交流した。写真。閉会式では、各優勝者に自身のサイン色紙をプレゼントし、遅くともいから思いっきり走ることが大事。スポーツを楽しむ頑張る姿勢、これからも頑張るよほしいとエールを送った。

小学4年男子 山本 侑玖 5分18秒  
同女子 小山 肇 5分38秒  
小学5年男子 桐生 竜馬◎ 5分05秒  
同女子 小出梨史奈◎ 5分46秒  
小学6年男子 村山 友香◎ 4分53秒90  
同女子 森岡 夏生◎ 5分00秒  
中学1年男子 高山 聖 8分25秒  
同女子 天羽 未夢 5分02秒  
中学2、3年男子 穴戸 研太 8分29秒  
同女子 河口 美空 4分57秒

◎は大会新記録

## 大会史上最多、350人が希望を胸に 新年のスタート



第40回元旦マラソン  
新年のスタートにふさわしい晴天のもと、第40回元旦マラソン大会が、豊田中学校区で開催された。40年前に開催された大会、地域の子供たちと交流し、新年の希望を胸に豊田の街を走りぬけた。

走ろう！つなごう！四季の道  
第5回おゆみ野四季の道駅伝  
今年で5回目となる「おゆみ野四季の道駅伝大会」が開催されます。寒い時期ではありますが、一本の「タスキ」で結ばれた仲間と共に元気に走ります。応援をお願いします。  
また、3中学校（泉吉・有吉・おゆみ野南）の美術部が駅伝案内の立て看板を作成し、四季の道遊歩道12か所に取り付けてあります。ぜひ、生徒の力作をご覧ください。  
日時：2月17日（日）雨天中止  
場所：四季の道遊歩道

小学生女子の部  
1位 吉澤 風紗  
2位 渡辺 千莉  
3位 佐々木 美緒

小学生男子の部  
1位 鈴木 駿友  
2位 井上 寛隆  
3位 鈴木 将

一般女子の部  
1位 横井 ミエ  
2位 渡辺 美羽  
3位 渡辺 美恵

一般男子の部  
1位 白井 卓輝  
2位 中村 圭也  
3位 島海 圭



# 還暦軟式野球 千葉スターズ



平均年齢66歳

## 生涯健康で明るく楽しく

背番	守備位置	氏名	年齢
30	監督	齋 孝信	70
10	主将	露崎 正由	66
11	投手	松岡 規充	65
17	"	仁礼 豊	67
18	"	長谷川芳一	64
20	"	宮ヶ崎正次	60
21	"	谷本 新一	67
2	捕手	阿部 道久	64
27	"	杉本 秀雄	78
55	"	古川 安信	62
3	内野手	村上 義則	66
4	"	吉田 昭光	68
5	"	吉村 正明	63
6	"	土橋 幸一	65
9	"	長嶋 宏幸	66
12	"	飯野 進	66
25	"	霜崎 由憲	62
0	外野手	鹿島 由昭	67
13	"	若梅 敏彦	65
19	"	林 道雄	64
22	"	田村 康明	70
23	"	平山 雅浩	69
28	"	武村 静雄	65

第9回千葉市長杯還暦軟式野球大会

千葉スターズ(千葉) 7  
 川崎 炎(神奈川) 7  
 上毛前橋クラブ(群馬) 2  
 京葉シルバース(東京) 1  
 坂戸還暦野球クラブ(栃木) 1  
 足利OB野球クラブ(栃木) 1  
 浦和還暦野球クラブ(埼玉) 1  
 市原クラブコスモス(千葉) 1  
 横浜港南クラブ(神奈川) 5  
 市川ライオンズ(千葉) 5  
 杉並アメニティーズ(東京) 5  
 山梨オールスターズ(山梨) 5

**◆第28回全日本還暦軟式野球選手権大会**

還暦を迎えたシルバードン手による軟式野球チーム千葉スターズは、全国大会常連の強豪チームだ。昨年9月に秋田県で開催された第28回全日本還暦軟式野球選手権大会に出場。2回戦で大会優勝チームの川崎ドリム(神奈川)に惜敗したが、存在感を見せ、また、5連覇の懸かった第9回千葉市長杯では、決勝で横浜港南クラブ(神奈川)に敗れ準優勝。惜しくも5連覇を逃したが、昨年の千葉県還暦軟式野球大会(全13戦)では全勝で4連覇を達成。今年も全日本選手権大会の出場権を獲得した。

斎孝信監督(70)率いる千葉スターズの創設は1986年。毎週水曜と日曜の2回、若葉区にある大宮球場で練習を行っている。チームの平均年齢は66歳。最年長は78歳の杉本さんで、最年少は投手の宮ヶ崎さん。宮ヶ崎さんは60歳ながら120キロ後半の速球を投げ込む剛腕投手だ。全国大会には28回中、24回は出場し、自慢の強力打線で3位に輝いたことも4度ある。そんな強豪チームのスローガは『生涯健康で明るく楽しく』。一戦一戦、必勝を期して頑張る。今年も千葉スターズは明るく、楽しく、白球を追いつける。

◆第9回千葉市長杯還暦軟式野球大会

▽1回戦  
千葉スターズ 5-1 川崎ドリム(神奈川)  
▽2回戦  
千葉スターズ 7-2 川崎炎(神奈川)

▽準決勝  
千葉スターズ 7-1 京葉シルバース(東京)

▽決勝  
横浜港南クラブ(神奈川) 10-0 千葉スターズ

(横)大輪 小林  
(千)仁礼 宮ヶ崎-阿部

**地域のベストパートナーを目指す！** YC (読売センター)

**YCおゆみ野** 電話043-291-1712

**YCあすみが丘** 電話043-294-9773

**YC誉田** 電話043-291-0537

**YC浜野** 電話043-261-6061

**YC大宮台** 電話043-264-6554

**YC都町** 電話043-233-6238

**YCちはら台** 電話043-652-2241

読売新聞・スポーツ報知のご購読お申し込みは、上記YC(読売センター)まで、ご連絡下さい。お待ちしております。

**読売DoMo新聞**  
よみうりこどもしんぶん

**毎週木曜日発行 月ぎめ500円**

- ①新聞に親しむ習慣作り ★写真いっぱいレイアウト
- ②オールカラー20ページ ★めくりやすいタブロイド判
- ③楽しい学習まんが ★主人公は小学生です!!
- ④1週間のニュースがわかる ★時事ワードを切り抜こう
- ⑤あの「小学館」とコラボ ★大手学習塾「四谷大塚」のページも
- ⑥役立つ英会話のページ ★小学生にイチから教えます